

# 青森県経済統計報告

平成14年8月5日  
企画振興部統計情報課

## 1 青森県の推計人口（平成14年7月1日現在） ..... 1

県人口	1,467,528人	（対前月 345人減少、対前年同月 4,382人減少）
自然動態	44人減少	（出生者数 967人、死亡者数 1,011人）
社会動態	301人減少	（転入者数 2,749人、転出者数 3,050人）

## 2 本県の経済動向

### （1）経済概況

本県経済の動向をみると、鉱工業生産指数が2ヶ月連続して前月比プラスとなるなど、一部上方への動きがみられるものの、雇用情勢は引き続き厳しい状況にあり、個人消費は依然低調に推移している。このように、最近の本県経済は、一部に明るい兆しがみられるが、全体として厳しい状況が続いている。

### （2）主要経済指標の動向

- (2-1) 製造業の生産 平成14年5月の青森県鉱工業生産指数（平成7年＝100）は、季節調整済指数が86.1で、前月比11.2%の上昇となり、2ヶ月連続で前月を上回った。 ..... 2
- (2-2) 雇用情勢 平成14年5月の現金給与総額（5人以上）は237,461円で、前年同月比1.0%増となったが、このうち定期給与は前年同月比1.8%減となった。所定外労働時間（5人以上）は7.6時間で、前年同月比1.2%減となった。6月の有効求人倍率は0.29倍と低迷している。 ..... 3
- (2-3) 物価 平成14年6月の青森県消費者物価指数は、総合指数で101.1となり、前月比0.8%の上昇となり、4ヶ月連続で前月を上回った。 ..... 4
- (2-4) 個人消費 平成14年5月の大型小売店売上高は、147億3,200万円となっており、前年同月比6.0%減となっている。平成14年5月の軽自動車を含めた乗用車新車登録・届出台数は、3,790台で前年同月比1.8%減となり、3ヶ月連続して前年を下回った。 ..... 5
- (2-5) 住宅建設 平成14年5月の新設住宅着工戸数は、1,137戸で前年同月比12.6%の増となっている。 ..... 6

### （3）景気動向指数（平成14年5月分） ..... 7

先行指数	・・・55.6%	（20か月ぶりに50%を上回った）
一致指数	・・・55.6%	（2か月連続50%を上回った）
遅行指数	・・・42.9%	（7か月連続50%を下回った）

### （4）青森県景気ウォッチャー調査（平成14年7月期） ..... 8

3ヶ月前と比べた景気の現状判断DI・・・42.7（前期比5.1ポイント増、5期連続50を下回る）  
3ヵ月後の景気の先行き判断DI・・・46.4（前期比2.7ポイント増、5期連続50を下回る）

# 1 青森県の推計人口（平成14年7月1日現在）

## 【概況】

平成14年7月1日現在の本県推計人口は、1,467,528人で、前月に比べ345人の減少となった。前年同月と比べると、4,382人の減少となった。

### ○自然動態

出生者数が967人、死亡者数が1,011人で、44人の減少となった。

6月中の統計としては、出生者数及び自然増加数が過去最少となった。

### ○社会動態

転入者数が2,749人、転出者数が3,050人で、301人の減少となった。

### ○人口の回復状況

3月中の移動（転出超過等）に対する、4月から6月までの移動（転出超過等）による人口の回復状況は55.3%（前年同月62.4%）となり、平成5年以降の同時期との比較では、最も回復が遅れている。

## 総人口の推移

(単位：人)

	総数	対前月増減率		増加数	自然増加数			社会増加数			
		男	女		出生者数	死亡者数	転入者数	転出者数			
平 2.10.1	1,482,873	704,758	778,115	-	-41,575	-	-	-	-	-	-
7.10.1	1,481,663	704,189	777,474	-	-1,210	-	-	-	-	-	-
12.10.1	1,475,728	702,573	773,155	-	-5,935	-	-	-	-	-	-
13. 7. 1	1,471,910	700,201	771,709	-0.014%	-204	-3	1,005	1,008	-201	2,893	3,094
13. 8. 1	1,471,857	700,118	771,739	-0.004%	-53	123	1,196	1,073	-176	3,709	3,885
13. 9. 1	1,472,776	700,633	772,143	0.062%	919	136	1,159	1,023	783	4,840	4,057
13.10.1	1,472,633	700,468	772,165	-0.010%	-143	89	1,030	941	-232	3,126	3,358
13.11.1	1,473,066	700,821	772,245	0.029%	433	55	1,233	1,178	378	4,028	3,650
13.12.1	1,473,005	700,794	772,211	-0.004%	-61	-123	1,038	1,161	62	3,251	3,189
14. 1. 1	1,472,950	700,689	772,261	-0.004%	-55	-216	976	1,192	161	3,075	2,914
14. 2. 1	1,472,741	700,550	772,191	-0.014%	-209	-233	1,022	1,255	24	2,987	2,963
14. 3. 1	1,471,961	700,099	771,862	-0.053%	-780	-146	915	1,061	-634	2,802	3,436
14. 4. 1	1,462,050	694,352	767,698	-0.673%	-9,911	-144	997	1,141	-9,767	7,601	17,368
14. 5. 1	1,467,713	697,949	769,764	0.387%	5,663	-28	1,106	1,134	5,691	12,926	7,235
14. 6. 1	1,467,873	698,055	769,818	0.011%	160	11	1,149	1,138	149	3,625	3,476
14. 7. 1	1,467,528	697,874	769,654	-0.024%	-345	-44	967	1,011	-301	2,749	3,050

## 6月中の人口動態の推移

(単位：人)

年月	平5.6	6.6	7.6	8.6	9.6	10.6	11.6	12.6	13.6	14.6
出生者数	1,269	1,295	1,298	1,154	1,169	1,220	1,160	1,142	1,005	967
死亡者数	978	907	938	933	970	1,041	1,034	971	1,008	1,011
自然増加数	291	388	360	221	199	179	126	171	-3	-44

## 3月中の移動（転出超過等）に対する、4月から6月までの移動（転出超過等）による人口の回復状況

年月日	平5.7.1	6.7.1	7.7.1	8.7.1	9.7.1	10.7.1	11.7.1	12.7.1	13.7.1	14.7.1
回復状況	56.5%	69.5%	70.5%	69.3%	60.9%	56.8%	56.9%	62.4%	62.4%	55.3%

※1 平成2、7、12年は国勢調査による数値。

※2 平成13年7月1日から平成14年7月1日までの人口は平成12年国勢調査人口（確定値）を基礎に推計している。

※3 増加数は、平成2、7、12年が前回、その他が前月に対するものである。

※4 社会動態の算定には、県間移動数に加え、県内市町村間移動数を含めている。

## 2 本県の経済動向

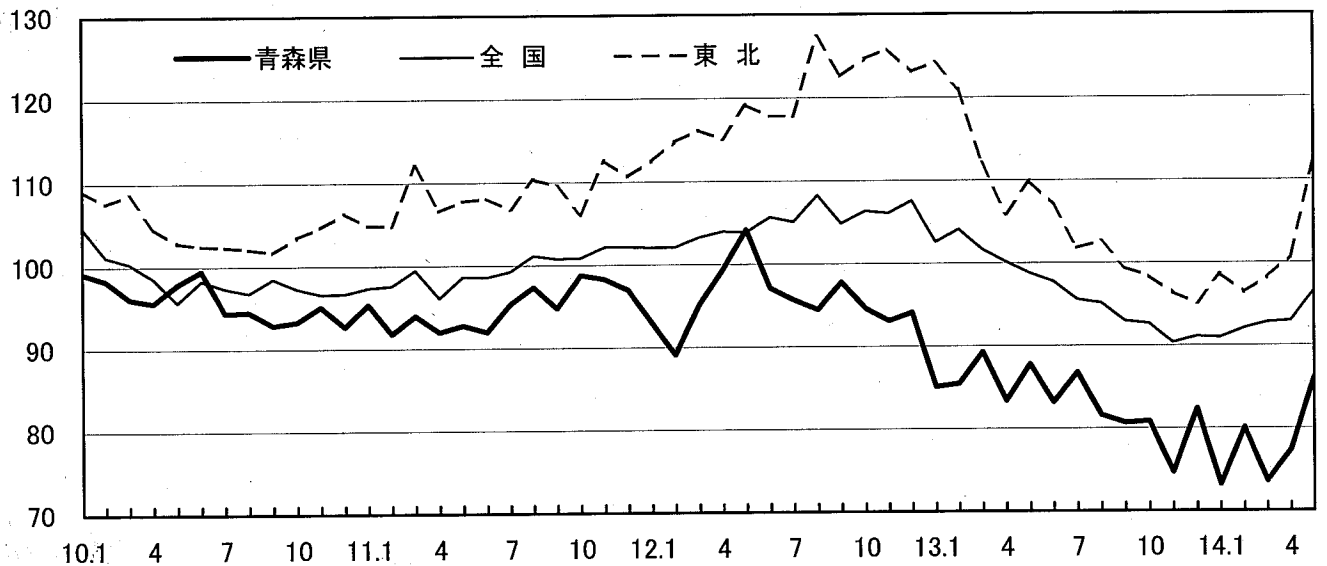
### (2) 主要経済指標の動向

#### (2-1) 製造業の生産

平成14年5月の青森県鉱工業生産指数(平成7年=100)は、季節調整済指数が86.1で、前月比11.2%の上昇となった。また、原指数は85.5で、前年同月比1.8%の低下となった。

季節調整済指数で前月からの動きをみると、金属製品工業、化学工業、窯業・土石製品工業などが上昇に寄与した一方、食料品工業、繊維工業、その他製品工業などが低下し、鉱工業全体で11.2%の上昇となった。

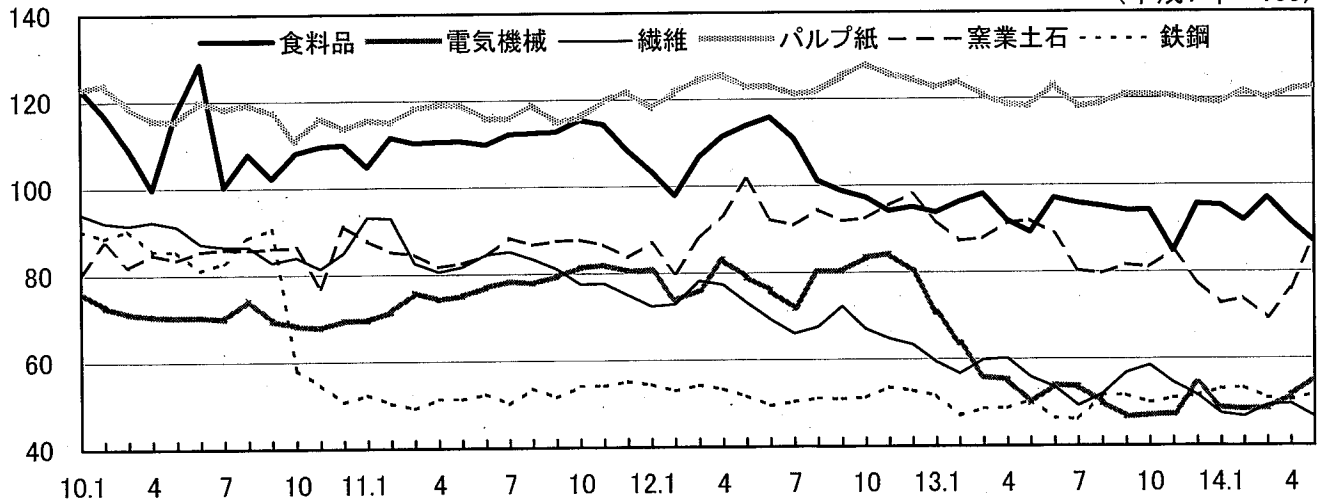
青森県・全国・東北の鉱工業生産指数推移(季節調整済指数)(平成7年=100)



◎業種別動向(前月比)

プラス			マイナス		
業種	前月比(%)	寄与率(%)	業種	前月比(%)	寄与率(%)
(鉱工業)	11.2	100.0			
金属製品工業	129.1	43.3	食料品工業	-5.0	-13.8
化学工業	193.2	39.0	繊維工業	-6.0	-2.5
窯業・土石製品工業	15.9	9.0	その他製品工業	-10.2	-1.1
電気機械工業	8.2	8.8	新聞・出版	-0.1	0.0
石油・石炭製品工業	37.4	3.3	—	—	—

主要業種の生産動向(季節調整済指数)(平成7年=100)



資料: 県統計情報課「鉱工業生産指数月報」

## (2-2) 雇用情勢

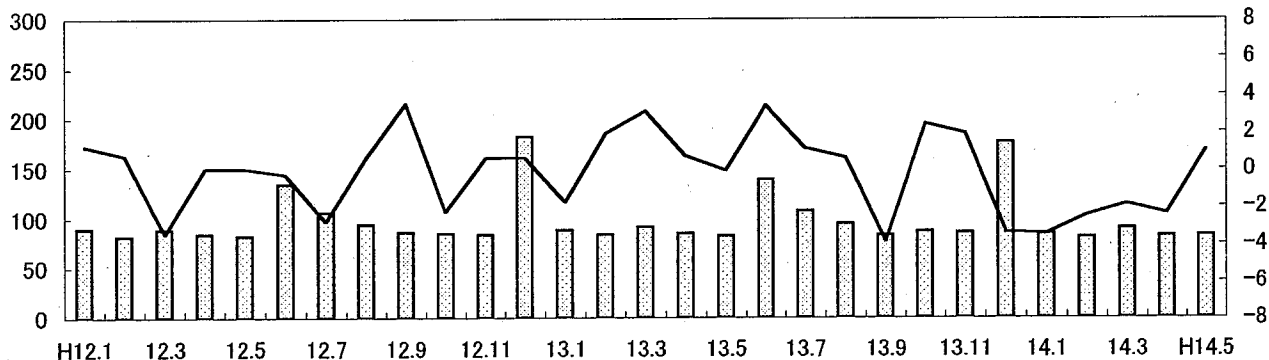
平成14年5月の現金給与総額は237,461円で前年同月比1.0%増となったが、このうち定期給与は231,658円で前年同月比1.8%減となった。また、全国対比は83.9となった。

所定外労働時間は7.6時間で、前年同月比1.2%減となった。

6月の有効求人倍率は0.29倍で、0.01ポイント低下した。

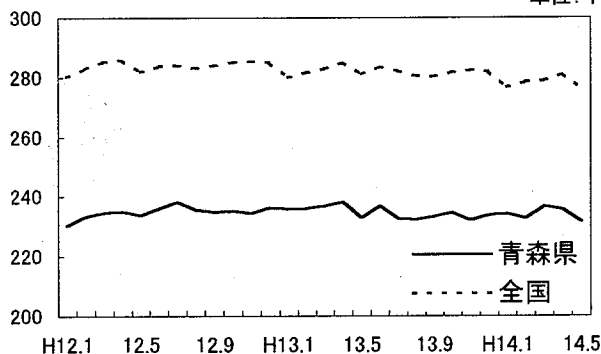
賃金指数の推移(調査産業計、5人以上)

■ 現金給与総額指数  
— 前年同月比(%)



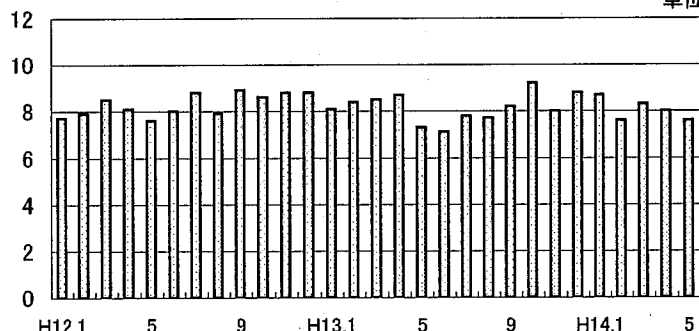
定期給与の推移(調査産業計、5人以上)

単位:千円



所定外労働時間数  
(調査産業計、5人以上)

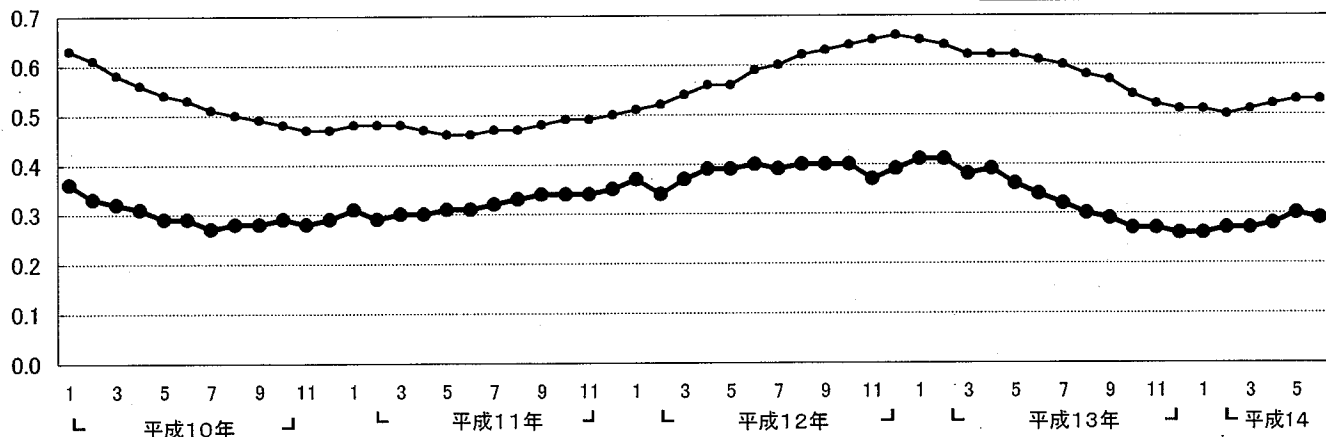
単位:時



資料: 県統計情報課「毎月勤労統計調査結果(速報)」

有効求人倍率(季節調整済値)

● 青森県  
○ 全国



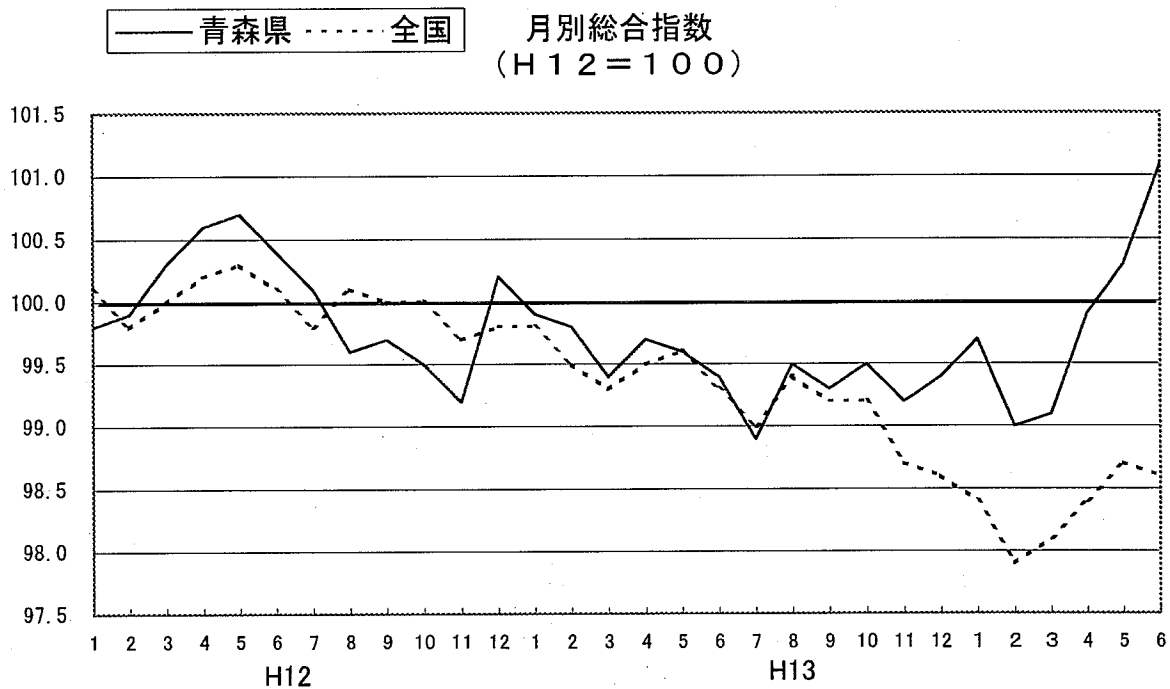
資料: 青森労働局職業安定部職業安定課

### (2-3) 物価

平成14年6月の青森県消費者物価指数は、平成12年を100とした総合指数で101.1となり、前月比0.8%上昇、前年同月比1.7%といずれも上昇した。

前月指数と比較すると、「住居」は古い家屋の取り壊しに伴う民営家賃の値上がり、「被服及び履き物」は夏物の背広・婦人セーター等の値上がりにより上昇した。

「教養娯楽」の前月比、前年同月比は、教養娯楽用耐久財の電化製品の値下がりにより、いずれも下落した。



### 10大費目別指数の動き

(平成12年=100)

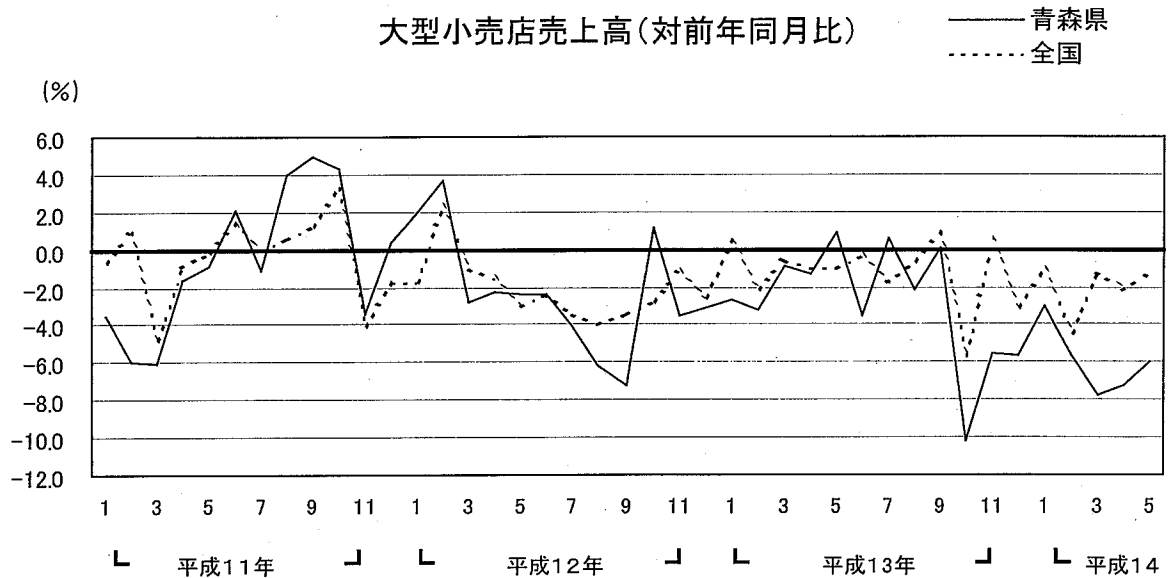
	総合	総合 (帰属 家賃を 除く)	総合 (生鮮 食品を 除く)	食料		住居	光熱・ 水道	家具 ・家事 用品	被服及 び履 き物	保健 医療	交通・ 通信	教育	教養娯 楽	諸雑費
				生鮮食 品										
当月指数	101.1	99.4	101.1	101.4	101.5	108.4	99.9	96.6	98.9	103.2	97.8	105.5	92.8	99.5
前月比	0.8	0.0	1.0	▲ 0.4	▲ 1.6	4.0	0.1	▲ 0.3	2.9	▲ 0.3	0.1	0.0	▲ 0.2	0.0
前年同月比	1.7	0.4	1.6	1.9	2.8	6.9	▲ 1.3	0.7	0.2	1.7	▲ 0.9	3.7	▲ 2.3	▲ 0.5

資料：県統計情報課「青森県消費者物価指数月報」

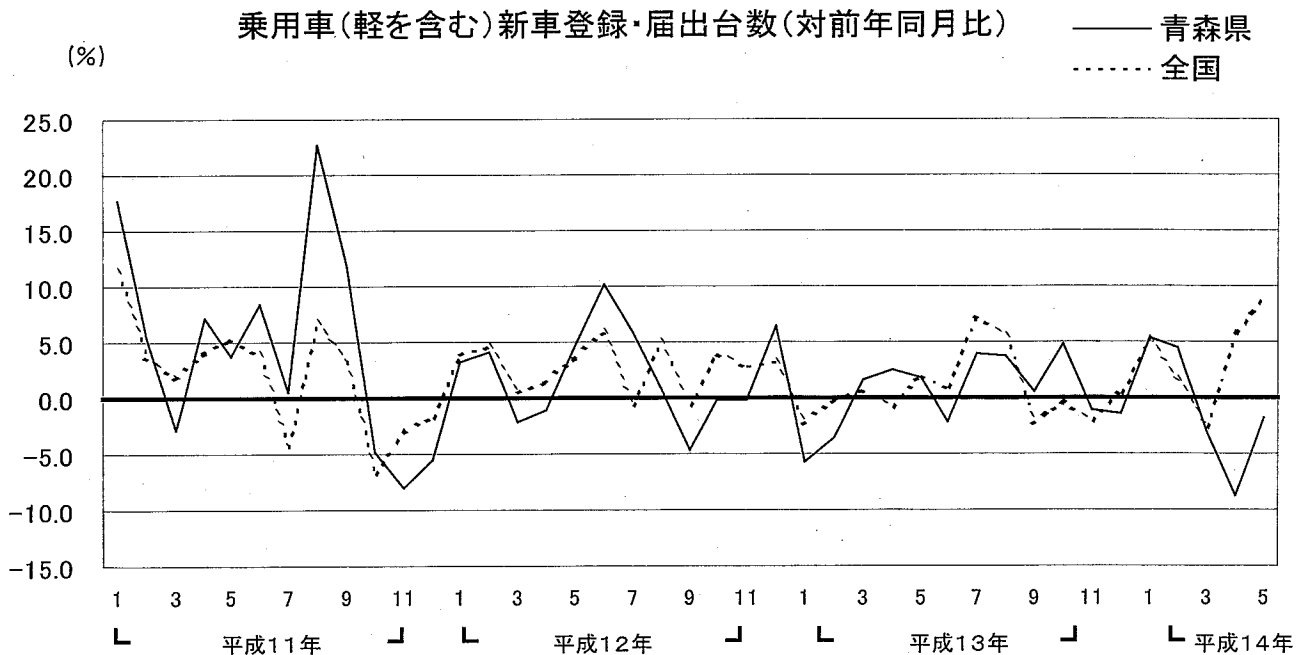
## (2-4) 個人消費

平成14年5月の大型小売店売上高は、147億3,200万円となっており、前年同月比6.0%の減となっている。

平成14年5月の軽自動車を含めた乗用車新車登録・届出台数は、3,790台で、前年同月比1.8%減となり、3ヶ月連続して前年を下回った。



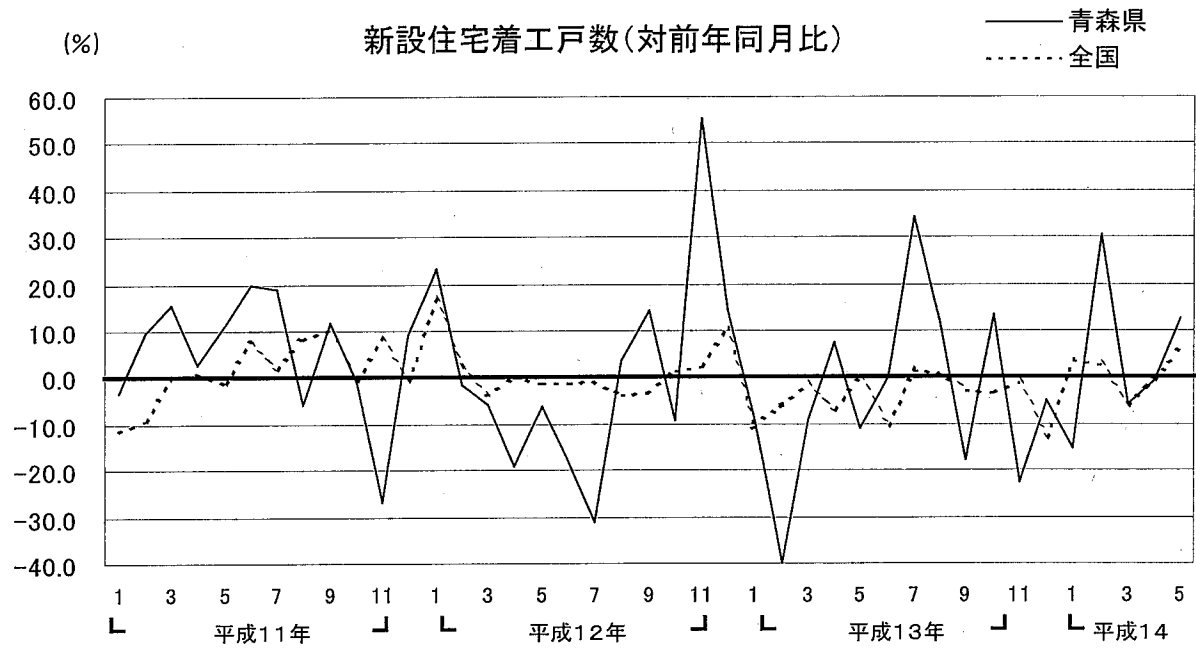
資料：東北経済産業局「東北地域大型小売店販売額動向」



資料：青森県自動車会議所「車種別登録・届出台数」、  
日本自動車販売協会連合会「自動車統計データ」

## (2-5) 住宅建設

平成14年5月の県内新設住宅着工戸数は、1、137戸で、前年同月比12.6%の増となっている。



資料：国土交通省「建設統計月報」

### (3) 景気動向指数

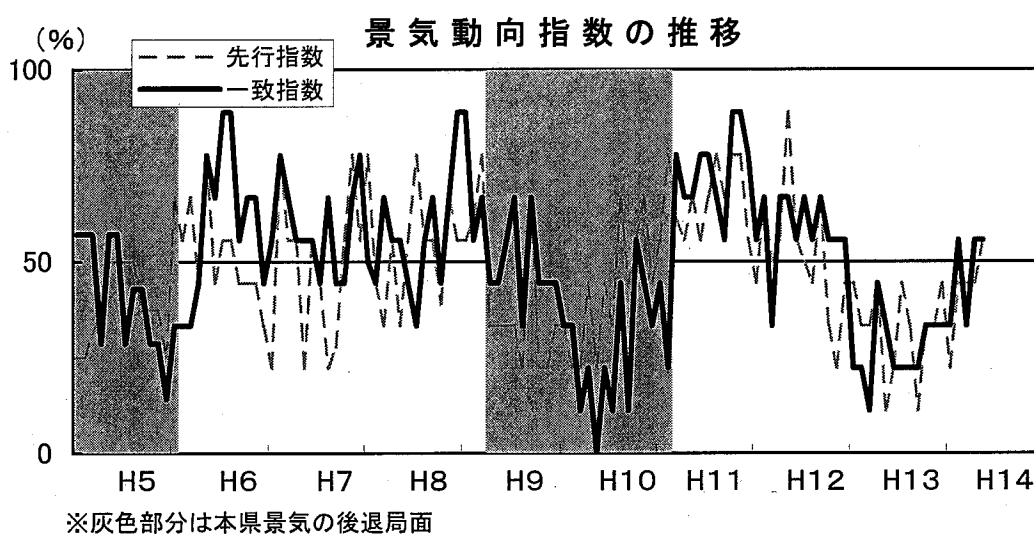
平成14年5月の景気動向指数は、先行指数55.6%、一致指数55.6%、遅行指数42.9%となった。

先行指数は、20か月ぶりに50%を上回った。

一致指数は、2か月連続50%を上回った。

遅行指数は、7か月連続50%を下回った。

5月の一致指数は、電気機械生産指数、大口電力使用量、鉱工業生産指数、海上出入貨物量（八戸港）、大型小売店販売額（実質）がプラスとなったことから、50%を上回った。



#### ●個別系列の動き

プラスの指標		マイナスの指標	
<b>先行系列(9指標中5指標がプラス)</b>			
生産財生産指数	4か月連続	新規求人数(常用)	17か月連続
建築着工床面積(鉱+商+サ)	4か月連続	所定外労働時間指数(全産業)	4か月連続
中小企業景況DI	3か月連続	乗用車新車登録届出台数	3か月連続
新設住宅着工戸数	2か月連続	企業倒産負債額	2か月連続
入職率(製造業)	7か月ぶり		
<b>一致系列(9指標中5指標がプラス)</b>			
電気機械生産指数	4か月連続	有効求人数(常用)	17か月連続
大口電力使用量	2か月連続	日銀券月中発行高	2か月連続
鉱工業生産指数	2か月連続	東北自動車道IC利用台数	2か月ぶり
海上出入貨物量(八戸港)	3か月ぶり	雇用保険基本手当初回受給者数	3か月ぶり
大型小売店販売額(実質)	4か月ぶり		
<b>遅行系列(7指標中4指標がマイナス)</b>			
消費者物価指数(帰属家賃除く総合)	2か月連続	常用雇用指数(製造業)	18か月連続
信用保証申込金額	2か月連続	勤労者世帯家計消費支出(実質)	7か月連続
1人平均月間現金給与総額	2か月ぶり	単位労働コスト(製造業)	4か月連続
		輸入通関実績(八戸港)	2か月ぶり

資料：県統計情報課「景気動向指数月報」

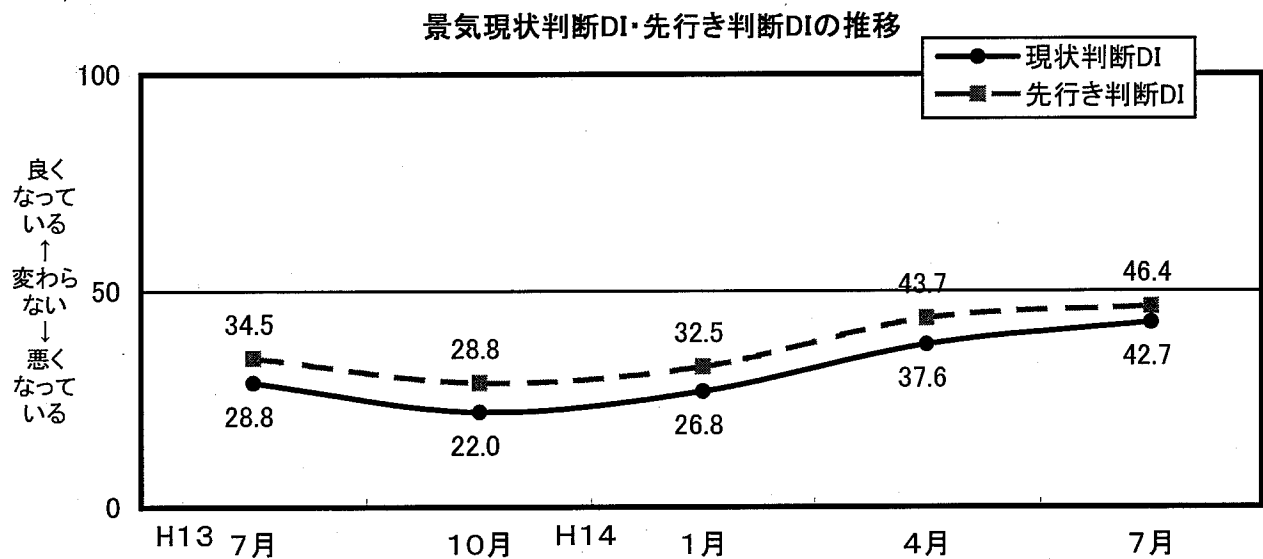


#### (4) 青森県景気ウォッチャー調査

平成14年7月期の景気ウォッチャー調査は、6月28日～7月22日を調査期間とし、回答率98%となった。

3ヶ月前と比べた景気の現状判断DIは42.7で、5期（試行調査含む）連続50を下回った。3ヵ月後の景気の先行き判断DIは46.4で、5期（試行調査含む）連続50を下回った。

7月期の現状判断DIは、横ばいを示す50を依然として下回っているが、平成14年1月期以降、連続してポイントが増加して、50に近付いている。



#### ● 3ヶ月前と比べた景気の現状判断

動	「悪くなっている」、「やや悪くなっている」が減少し、5割以上が「変わらない」と回答したため、前期調査より5.1ポイント増の42.7となり、5期（試行調査含む）連続して横ばいを示す50を下回った。
向	判断理由をみると、一部に売上回復の声があるものの、倒産・リストラ等による雇用情勢の厳しさや、中元セール等における個人消費の伸び悩みが多く挙げられていた。りんごの価格低下による農家の購買意欲減を心配する声もある。 分野別では、家計関連（飲食）が、売上減や経費負担増などの理由により、落ち込んだ。 地区別では、東青地区のポイント増が目立ち、家計関連（飲食）以外は50に達している。

#### ● 3ヵ月後の景気の先行き判断

動	「悪くなっている」、「やや悪くなっている」がやや減少し、6割が「変わらない」と回答したため、前期調査より2.7ポイント増の46.4となり、5期（試行調査含む）連続して横ばいを示す50を下回った。
向	判断理由を見ると、夏祭り等のイベントに期待する一方、景気回復材料の不足や経済改革への不信感、米国の景気後退による影響等が懸念されている。 地区別では、津軽地区では来客数の減少等から、前期調査よりやや低くなった。県南地区では、新幹線開業に向けた、イベント等の効果を期待する声がある。

資料：県統計情報課「青森県景気ウォッチャー調査報告書」

(参考)景気ウォッチャーによる景気判断理由(一部)

● 3ヶ月前と比べた景気の現状判断

- 前年比売上げが、3ヶ月前の前年比落ち込みより回復傾向にある。(食料品製造=東青)
- 商店街振興組合加入の各商店10軒位、聞き取りしたところ、売上が前年比、横ばいよりもむしろ下降傾向にあります、との反応でした。価格の高低でなく、日常生活費の経費増に追われているようです。(商店街=東青)
- 贈答品の単価、数量が下がったまま上昇しない。(商店街=津軽)
- 季節の変化に伴う消費が伸びていない。地域的に農家の収入が景気を左右しますが、りんごの価格の低迷が響いている。(旅行代理店=津軽)
- 自分の職場ではあまり大きな波は感じられないが、ちょっと郊外の観光地、リゾート地に行くと、その人の少なさに驚く。また、市内の飲食店も、夜の人の出はまばらに見える。しかし身の周りに大きな変化はない。(スーパー=県南)
- 建築物では新規のものは期待できず、既存施設の補修や改築・改修に活路を見出すのが現況である。(住宅建設販売=県南)
- ▲ 会社の倒産が下北地区でも多数出てきて、失業者が多くなっている。自店でも男性のお客が増えて、主婦にかわってメモを持ち、買い物されている。(スーパー=下北)
- ▲ 来店客数が減っている。客単価も低い。消費を我慢している様子が目立つ。(家電量販店=津軽)
- × 客足が遠退いている。(スナック=津軽)

● 3ヵ月後の景気の先行き判断

- 7~8月は祭りでのイベント等による移動マーケット情報から、売上増が見込まれる。(コンビニ=県南)
- 大手重機販売業で自殺者が出るなど、銀行の貸ししづりが強く、これからも続くものと思われます。(ガソリンスタンド=下北)
- 都会はともかく、地方においては特別景気良くなる要素なし。(衣料専門店=津軽)
- 景気の牽引役となる産業が見当たらず、当面在庫調整が進むものと思われるため。(紙・パルプ製造=県南)
- 良い方向へ向かう材料も見られる反面、ここへ来てアメリカの景気後退や粉飾決算、政府の構造改革の遅れなど、悪影響を及ぼすことも多々あり、予想が難しい。
- 事務系の求人に対する応募者が多くみられることは雇用面で正社員の採用が進んでいないのでは。(人材派遣=東青)
- ▲ ますます可処分所得が減少すると考えられるため(就職できない人が身近に増加傾向であることと関連して)。(コンビニ=津軽)
- ▲ 公共工事発注の回復は見込めず、例年秋口には発注が峠を越えることから、9月以降さらに悪化するものと推測される。(建設=県南)
- × 8月ねぶた時期含め、8、9月の旅行業者及び直接の予約が入っていない。(タクシー=東青)

記号の意味:◎良くなっている、○やや良くなっている、□変わらない、▲やや悪くなっている、×悪くなっている

資料:県統計情報課「青森県景気ウォッチャー調査報告書」